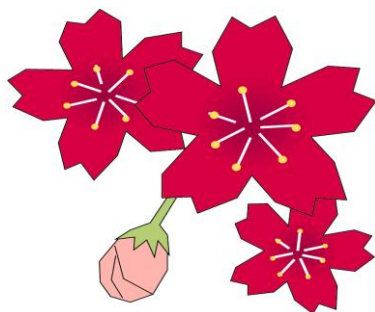


# かささぎ



北京日本人学校  
学校通信 第1号  
平成28年4月18日  
校長 奥田 修也



## 28年度 新学期がスタートしました

校長 奥田 修也

今年新しく植えた前庭の10本のソメイヨシノは思いの外早く開花し、もう葉桜になってしまいました。北京の短い春はあっという間に過ぎ去って頭上には夏を思わせる太陽が輝いています。近くの四得公園を歩くと多くの花壇が色とりどりに季節の本番を迎えています。

56名の新小学部1年生と各学年に30名あまりの転入生を迎え、全校児童生徒389名の元気な声と笑顔と歌声で平成28年度新学期が始まり、約1週間がたちました。新しい教室で、新しい友達や新しい先生と新学年のスタートをきり、入学した喜び、進級した喜びでどの子ども大きく胸をふくらませていることと思います。

空気のよい日の昼休みには、遊具や鉄棒、ドッジボール、サッカーなどで校庭いっぱい友達と楽しく遊んでいる元気な子どもたちです。中学生が小学部の下級生と一緒に遊んであげたりするなどほほえましい姿も見られ、新小1の子どもたちも徐々に学校生活に慣れていくでしょう。

教室では、新しい教科書、新しいノートを手にし、どの子ども意欲満々に新学年の学習を始めており、それぞれの学級でのクラスづくりも着々と進んでいます。

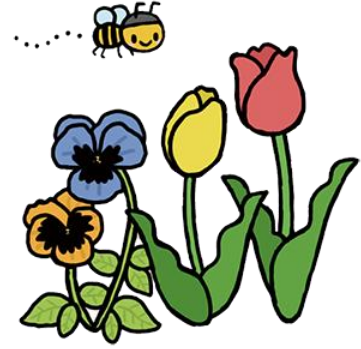
この新しい出会いと意欲を大切に、子どもたち一人一人が「分かる喜び」、「できる喜び」を味わい、持っている力を十分に発揮できるよう支援をしていきたいと思えます。

子どもたちにとって学校は友達といっぱい遊べる場所、安心して生活できる場所、楽しく勉強できる場所です。ここ北京では子どもたちを取り巻く環境はいろいろと厳しい面があります。そこで、少なくとも「学校」は「楽校」であるべく、教職員全員が一丸となって子どもたちの指導に当たっていきたくと思っています。

ところで、本校は創立40年の歴史があり、今年度の11月には40周年記念行事を行う予定です。長い歴史の中で、在外の子どもたちを取り巻く環境も大きく変化してきました。しかし、社会がどんなに変化しようとも、学校では「時代を超えて変わらない価値があるもの」を確実に身につけさせる必要があります。正義感や公平なことを重んじる心、自らを律しつつ他人と協調し他人を思いやる心、人権を尊重する心、自然を愛する心などの豊かな人間性を培うことや、日本の歴史や文化を学び、日本という国を愛する心を培い、グローバル化する社会にたくましく生きるための資質や能力、体力をはぐくむことも、本校教育の大きな課題です。

そのようなことをしっかり身につけるため、「勉強は先生から教えてもらうもの」という考え方ではなく「勉強は自分で課題を見つけ、自分の力で解決し、身につけていくもの」という考え方が子どもたちの学習感の中心になっていくよう日々の授業の充実に一層力をそそぎます。子どもたちから「勉強が楽しい」「勉強がよく分かる」「先生や友達と一緒に勉強できてうれしい」という声が聞こえてくるような学校にしたいと思っています。

今年度も北京日本人学校の子どもたちが健やかに、そしてたくましく育っていけるよう、保護者の皆様や在留邦人の皆様のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



## 理事長を退任するにあたって

前学校運営理事会理事長 大橋 智加

皆様、こんにちは。2015年度運営理事長を務めさせていただきました大橋智加です。  
この度、2016年3月末をもちまして運営理事長を退任致しました。

この1年間、歴史と伝統のある北京日本人学校の運営理事長として学校運営に携わることが出来ましたことは、私にとって大変貴重かつ大きな経験、財産となりました。この場をお借りしまして運営理事会理事の皆様、保護者の皆様、学校関係者の皆様に対し、心より御礼申し上げます。

理事長に就任してからの1年間、様々な課題に直面いたしました。主なものでも大気汚染の問題、授業料値上げの問題、学校補修の問題等々対応が急がれる重要課題が多く検討—決断—実行のサイクルを早く回すことに心がけましたが、何よりも関係の皆様のお温かくも強力なご支援、ご協力に支えられ、御蔭をもちまして、それぞれの課題に対し、少しでも善処でき、前進する成果が得られたのではないかと感じています。本当にありがとうございました。

4月から理事長を退任いたしますが、理事として引き続き学校運営に貢献させていただきたいと考えていたのもつかの間、私事で恐縮ですが、理事長退任と機を同じくして、残念ながら社命により日本に帰任することとなり、この原稿が出される頃には北京の地を離れております。今後は、西澤理事長を始めとする理事の皆様を引き継ぎますが、生徒本位でよりスピーディーに意思決定・実行がなされる運営理事会となりますこと信じています。

この理事長就任の間、また一方私自身が学ばせていただくことも多く、感謝しております。特に、様々なことを素直に吸収し、学ぼうとする子供たちに対し、それに正面から向き合い、ご苦勞されている先生方から、子供たちを立派に育てていくことが何にも増して我々大人の責務であり、社会発展の基盤であるという、当たり前のことを改めて学ばせていただき、微力ながらそれに参画させていただけたことに感謝しています。また入学式や卒業式また運動会等の行事へ参列し、子供たちの一所懸命な姿を拝見させていただくことを通じ、この素直な頑張りに、(失礼ながら)ある種新鮮な感動を覚えるとともに大人が正面から応えないといけない責任を、子供たちからも教えてもらったように思います。是非に今後の私の人生の糧としていきたいと思えます。

最後になりましたが、改めて今後とも北京日本人学校の学校運営に関係する全ての皆様方の変わらぬご支援とご理解を宜しくお願い申し上げます。私の退任のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。



# 新赴任教員紹介



## 多田 久美子 (ただ くみこ)

18年前、夫の日本人学校赴任で、幼い娘と0歳の息子連れ、マレーシアで3年間暮らしました。異文化の中で育った経験は、娘と息子にとってかけがえのない財産です。帰国して15年、今度は私が、北京日本人学校へ派遣されることになりました。保護者として日本人学校に関わった経験が少しでも生かせたらと思います。そして、北京で育つ子どもたちと一緒に、これからどんなすてきな活動ができるのか、とてもわくわくしています。

## 釜崎 孝一 (かまさき こういち)

見た目はよく〇〇教師と言われますが、指導専門教科は数学です。今から4年前に、大学院現職派遣制度を利用して数学的な推論研究をしてきました。ここ数年は、研究成果を現場で生かそうと考え、アクティブラーニングの視点も取り入れながら、主に問題解決型の授業実践を行っています。今後も数学的思考・判断を高める授業をベースにしながら、生徒と共に「数学」を「数楽」にしていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 高原 清史 (たかはら きよし)

私は岡山県から来ました。岡山といえば日本一降水量の少ない「晴れの国」。私は、太陽のような明るい笑顔と寒いおやじギャグで学校をしっかりと盛り上げていく決意です。好きな言葉は「桜梅桃李」。子どもたちの自分らしさをしっかりと伸ばせるように精一杯がんばります。北京での新しい環境に一日でも早く慣れ、北京を熱く語れるようになりたいです。よろしくお願ひします。

## 酒主 毅紀 (さかぬし たかのり)

北京日本人学校に赴任することができて、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。新しい生活に一日も早く慣れ、学校の一員として貢献できるよう一生懸命取り組んで行きたいと思います。担当教科は保健体育と社会です。いろいろご指導いただくこともあるかと存じますが、よろしくお願ひいたします。

## 松本 由貴 (まつもと ゆき)

はじめまして。埼玉県より赴任しました。好きな教科は体育です。特に、バスケットボールとサッカーが好きなので、一緒に体を動かしましょう！私のモットーは「七転八起」です。失敗を恐れず、多くのことにチャレンジして、自分の力を伸ばしていきましょう！北京日本人学校の子どもたちが「安心・安全・笑顔」で学校生活を送れるよう、全力を尽くします。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 丹野 真夢 (たんの まなむ)

はじめまして。私はさくらんぼで有名な山形県出身です。この度ご縁があり、北京日本人学校へ赴任することになりました。皆さんに出会えたことに感謝しながら、一緒に多くのことを経験し、学んでいきたいと思っています。また、1日でも早く皆さんの力になれるよう精一杯努めますので、よろしくお願ひします。私は音楽が大好きなので、一緒に活動できることを楽しみにしています。

照井 佳彩 (てるい あやか)

みなさん、はじめまして！東京生まれ東京育ち。私の趣味はスポーツ観戦をすること、食べること！特に野球が大好きです。東京ヤクルトスワローズのファンでよく球場に応援に行きました。みなさんが好きな食べ物はなんですか？ぜひ美味しい食べ物を教えてください！私をみかけたら気軽に声をかけてくれるとうれしいです。たくさんお話ししましょう！よろしくお祈いします。

